

## 考慮すべきポイント（素案）

### 1. スポーツ振興における施設面の課題への対応

＜主な課題＞

- ◇プロスポーツやトップチームを誘致する設備が十分でない
- ◇大規模な大会やイベントを行うためには観客席や駐車場の不足
- ◇県民体育館や多目的グラウンドの利用者が多く、コート確保の利用ニーズに十分対応できていないことから、既存施設の利活用も含めてフロア数（コート数）の確保が必要

### 2. スポーツを通じた県政課題へ対応

- ◇交流人口や関係人口の拡大を含め、人口減少対策につながる整備が必要

### 3. 災害時の避難環境の整備

- ◇整備候補地の環境を踏まえ、災害時の避難施設としての機能も備えた整備が必要

### 4. コストの削減

- ◇民間のノウハウを活用したイニシャルコスト（初期費用）及びランニングコスト（維持費用）の削減

## 基本方針（素案）

### ●スポーツ+エンタメ

- ・全国規模の競技大会やコンサートなど、特に若者や子育て世代が集い、楽しめる空間を創出

### ●スポーツ+健康づくり・生きがいづくり

- ・子供から高齢者、障害者、誰もが使いやすく「集い」や「健康づくり」の場を創出

※災害発生時の避難場所を確保

## 考慮すべきポイントの根拠

### 1. スポーツ振興における施設面の課題への対応

#### ①プロスポーツ（屋内競技）の誘致や大規模な大会・イベントを開催することができる設備が十分でない

- 全国の主な体育館やアリーナと比べて観客席数やフロア面積が十分でない

【全国の主な体育館・アリーナの観客席数及びフロア面積の平均】

施設	観客席数	フロア面積
全国の主な体育館・アリーナ	約7,900席	約3,700㎡
Bリーグホームアリーナ	約5,400席	約2,885㎡

※スポーツ課調べ

※Bリーグ（バスケットボール）は2025年から、Vリーグ（バレーボール）は2030年からホームアリーナの観客席数基準を5,000席としている

- 全国の主な体育館やアリーナの駐車場台数に比べて、県民体育館の駐車場台数は少ない

【全国の主な体育館・アリーナの駐車場台数の平均】 ※スポーツ課調べ

施設	市街地	郊外
全国の主な体育館・アリーナ	約790台	約810台

※スポーツ課調べ

競技名	観客席数（固定席）	フロア面積
県民体育館	4,644席（1,572席）	1,945㎡
春野体育館	4,800席（1,830席）	2,460㎡
高知市東部体育館	2,000席（1,492席）	2,480㎡

※スポーツ課調べ

施設	駐車場	施設	駐車場
県民体育館	82台	高知市体育館	800台
春野体育館	1,360台	高知市東部体育館	819台

#### ②日常的なスポーツ活動や県内競技大会における利用者が多く、大会時には施設確保に課題がある

- 主な体育館及びプールの利用者が多く、抽選漏れも多数ある
- 主な屋内競技や多目的グラウンドを使用する競技では、コート全体のキャパシティが限られているため、一つの大会において「3日間以上の日程設定」や、「複数施設の活用」、「複数市町村の施設の活用」が必要になっている

【R5年(2023) 高知市内の体育館・プールの利用状況】 ※スポーツ課調べ

区分	競技名	年間利用者数	月平均	月利用者の最低値	月利用者の最高値	日平均
						※月最高値から算出
体育館	県民体育館	74,000	6,166	3,149	6,555	211
	春野体育館	63,381	5,281	3,006	13,521	436
	高知市体育館	84,608	7,050	3,647	10,702	345
	高知市東部体育館	24,040	2,003	2,892	12,809	413
プール	県民体育館プール	43,161	4,316	2,552	6,078	196
	高知市総合運動場プール	78,515	6,543	3,647	10,702	345
	くろしおアリーナ	62,201	5,183	2,892	12,809	413

【中体連(中)・高体連(高)主催の大会における運営状況】

競技	3日以上 の日程		複数会場		複数市町村 の会場	
	中	高	中	高	中	高
バスケットボール	3	4	2	4	1	4
バレーボール	1	2	4	5	1	5
卓球	0	0	0	0	0	0
バドミントン	0	2	0	0	0	0
サッカー	4	5	4	5	4	5

※卓球とバドミントンは複数会場の活用はないが、必要なコート数を確保できる会場に限定される

### 2. スポーツを通じた県政課題へ対応

#### ○多分野のイベントなど県内外から多くの方を集客できる施設が十分でない

- 国内外のアーティストの公演数や動員数については、四国他県と比べて少ない

【R5年(2023) ACPC基礎調査 公演数 出典:(一社)コンサートプロモーターズ協会】

項目	高知	愛媛	香川	徳島
公演数	87	168	304	48

【四国内の主な会場】 ※スポーツ課調べ

項目	高知	愛媛	香川	徳島
	オレンジホール	愛媛県武道館	香川県県民ホール	アスティ徳島
収容人数(人)	1,507	3,884	2,001	5,000
ステージ規模	間口18m 奥行15m	-	間口49m 奥行20m	間口36m 奥行14m

- 全国では多くの都道府県が、スタジアムやアリーナを整備又は整備を計画している（別紙参照）

### 3. 災害時の避難環境の整備

#### ○長期浸水区域における施設の整備において、備えておくべき設備・機能を検討する必要がある

【災害時を想定して備えている機能等】

県民体育館	旧南中高校施設
・避難所 ・災害用備品の備蓄	・津波避難ビル（校舎） ・避難所 ・災害用備品の備蓄

### 4. コストの削減

#### ○民間活力の活用による多様な「事業方式」や「資金調達方式」を活用・充実させることが必要【考えられる活用例】

事業方式	資金調達方式
・PFI ・公共施設等運営権方式 ・指定管理者制度 ・DBO(公設民営) 等	・スタジアム・アリーナ改革推進事業 ・スポーツ振興くじ助成金 ・地域スポーツ施設整備助成 等

### ① 建築時期

- ・比較的新しい施設（過去5年以内に建設された施設）
- ・計画中の施設（5年以内の完成を目指して計画されている施設）

### ② 施設の規模

- ・県民体育館と同規模程度の施設

### ③ スポーツ施設としての機能

- ・体育館機能を有し、プロチーム等の試合を開催できる施設

### ④ 特徴的な設備・機能

- ・憩いのスペースを確保している施設
- ・防災機能などに工夫がある施設 など

### ⑤ 自治体規模

- ・人口規模及び財政規模を考慮

# 視察候補施設マップ



# 視察候補施設

項目	【高知県】 県民体育館	① 【広島県】 エピコアリーナふくやま	② 【鳥取県】 米子アリーナ	③ 【静岡県】 浜松アリーナ
施設外観			<b>【計画中】</b>	 <b>【改修予定】</b>
設置者 設置年	高知県 1973年 (S48)	福山市 2019年 (R元)	鳥取県・米子市 2027年予定 (R9)	浜松市 2028年予定 (R10)
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡ (敷地面積) 6,094㎡ (建築面積) 8,901㎡ (延床面積)	33,674㎡ (敷地面積) 13,868㎡ (建築面積) 16,238㎡ (延床面積)	241,158㎡ (敷地面積) 9,495㎡ (建築面積) 13,380㎡ (延床面積)	31,882㎡ (敷地面積) 14,135㎡ (建築面積) 31,185㎡ (延床面積)
収容人数 観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	5,000人 (固定席：2,100席)	4,000人以上	8,000人
メインフロア面積	1,945㎡	2,600㎡	バスケットコート3面	2,860㎡
プロチーム の利用	無	有 広島ドラゴンフライズ (B1)	無	有 アグレミーナ浜松 (F) 三遠ネオフェニックス (B1)
特徴	—	・3棟をデッキでつないだ構造 ・施設命名権の導入	・施設の床面を周辺の浸水想定より高く整備 ・PFI事業の予定	・2026年(R8)頃から改修予定 ・Bリーグ基準への対応や汎用性の高い空間への改修
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	456,511人【福山市】	532,899人【鳥取県】	776,750人【浜松市】
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368 (46位)	0.59373 (14位)	0.27871 (45位)	0.68765 (7位)

# 視察候補施設

項目	【高知県】 県民体育館	④ 【埼玉県】 次世代型スポーツ施設	⑤ 【群馬県】 太田市総合体育館 オープンハウスアリーナ太田	⑥ 【茨城県】 かみす防災アリーナ
施設外観		<b>【計画中】</b>		
設置者 設置年	高知県 1973年 (S48)	さいたま市 2027年予定 (R9)	太田市 2023年 (R5)	神栖市 2019年 (R元)
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡ (敷地面積) 6,094㎡ (建築面積) 8,901㎡ (延床面積)	81,000㎡ (敷地面積) 9,000㎡ (建築面積)	158,789㎡ (敷地面積) 7,327㎡ (建築面積) 10,611㎡ (延床面積)	29,463㎡ (敷地面積) 13,891㎡ (建築面積) 20,145㎡ (延床面積)
観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	5,000人	5,000人	10,000人 (固定席：2,500席)
メインフロア面積	1,945㎡	—	2,460㎡	2,410㎡
プロチーム の利用	無	無	有 群馬クレインサンダーズ(B1)	有 茨城口ボッツ (B1)
特徴	—	興行が可能な「メインアリーナ」、市民利用目的の体育館機能の「サブアリーナ」、メインとサブをつなぐ「結節空間」の整備を予定	大型の四面ビジョン、VIPルームの設置、数多く設置された照明、音響設備も充実	・防災拠点として位置づけられた多目的施設 ・避難施設の運営管理を想定した設備を整備
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	1,346,412人【さいたま市】	222,349人【太田市】	93,908人【神栖市】
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368 (46位)	0.75617 (6位)	0.60670 (12位)	0.62985 (8位)

# 視察候補施設

項目	【高知県】 県民体育館	⑦ 【秋田県】 新秋田県立体育館(仮称)	⑧ 【青森県】 青森市総合体育館 カクヒログループスーパーアリーナ
施設外観		【計画中】	
設置者 ・設置年	高知県 1973年 (S48)	秋田県 2028年予定 (R10)	青森市 2024年 (R6)
面積 (敷地・建築・延床)	10,714㎡ (敷地面積) 6,094㎡ (建築面積) 8,901㎡ (延床面積)	223,400㎡ (敷地面積) 10,000㎡ (建築面積) 17,000㎡ (延床面積)	51,000㎡ (敷地面積) 9,822㎡ (建築面積) 12,063㎡ (延床面積)
観客席数	4,644人 (固定席：1,572席)	6,000人以上	2,598人 (固定席：1,254席)
メインフロア面積	1,945㎡	バスケットコート2面以上	2,000㎡
プロチーム の利用	無	有 秋田ノーザンハピネッツ (B1)	有 青森ワッツ (B2)
特徴	—	・スポーツ医科学サポートが行える 設備を整備 ・PFI事業	・ネット遊具や滑り台など大型遊具が 常設されたキッズルームを整備 ・施設命名権の導入
人口規模 (令和6年4月現在)	657,955人【高知県】 314,116人【高知市】	902,060人【秋田県】	265,073人【青森市】
財政規模 (財政力指数・R4)	0.27368 (46位)	0.35923 (44位)	0.35739 (37位)